

若手設計者が現場研修

S 造の内部確認

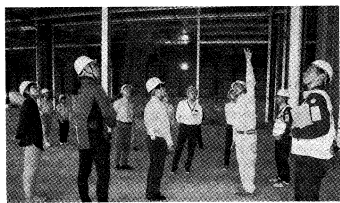
J S C A
東 北

日本建築構造技術者協会東北支部（J S C A）成田論支部長は6日、会員が構造設計を担当した宮城県石巻市内の建築現場で、若手設計者を対象とした現場見学会を開いた。正会員、学生会員ら15人が参加し、断熱材が設置される前の内部構造を確認した。

造設計を担当した建築物であつても施工まで立ち会う機会が少ない。そのため、J S C A東北支部は本年度の活動目標として、会員が設計した現場で研修することを掲げている。

見学した現場は、水産加工会社の丸一阿部商店（宮城県女川町）が石巻市内に建設している加工場兼冷蔵庫。S造平屋一部2階建て、延べ7115・9平方メートルの建物を丸本組（石巻市）が

支柱や梁などの構造を確認する若手会員ら



伝えられた。その後の現場見学では、鉄骨の柱や梁があらわになった内部構造を観察しながら、丸本組の施工担当者からも施工上で工夫している点について説明を受けた。

貴重な勉強の機会を得た会員の渡辺晋さん（仙台市ゴウ構造）は「普段描いている設計の部分が、実際の現場ではこのように見えているのか」と気付かされた。と胸に落ちた様子だった。

6月の支部長就任以来、若手を育成する機会を設けようと努めてきた成田支部長は「自分が設計を手掛けた現場を見るのが一番の勉強になる。設計者といえども現場を見られる機会は少ないので、こういう経験を積み重ねてほしい」と若手の成長を願った。